

DIGITAL CLAMP LEAKER

MCL-400DFN

取扱説明書

このたびは、デジタル・クランプ・リーカーMCL-400DFNをお買い上げいただきありがとうございます。本器は、当社のすぐれた技術から創り出された信頼性の高いクランプリーカーです。

はじめにこの《取扱説明書》をよくお読みになって、本器の操作に十分慣れてください。

それが、トラブルを未然に防ぎ、本器を有効にご使用いただく最良の方法です。

Let's Create
New Concepts of Instruments

MULTI マルチ計測器株式会社

本 社 東京都千代田区佐久間町1-26 村井ビル7F
〒101-0025 電話 03(3251)7013代 FAX 03(3253)4278
野田工場 千葉県野田市宮崎53-8
〒278-0005 電話 047(125)8853 FAX 047(123)9488
Homepage: <http://www.multimic.com/>
E-mail: multi@multimic.com

1. 概 要

本器は、最新のCT技術を結集し、CTの使用性を大巾に向上させた高精度のクランプ式漏電計です

特長

- クランプ部がスリムになり、電線へのはさみ込みが容易になりました
- 外部磁界の影響はほとんどありませんので、モーター等に接近した所、他の配線に接近した所でも、微小電流が正確に測定できます
- 鉄心には、長期間使用しても錆びない特殊合金を使用していますので、経年変化が少く、常に安定した精度を保ちます
- 換算グラフ（本体付）により600Aまで測定可能です
- 電流測定において高域周波数をカットすることができます。

2. 仕様

測定範囲

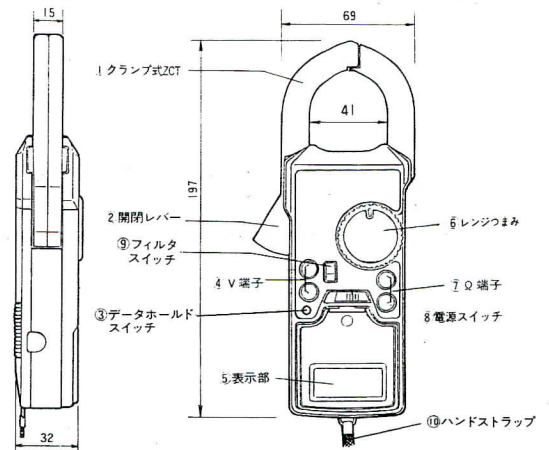
漏れ電流・電流	0 ~ 20, 200, 2000mA / 20, 200, 400 A AC(50/60Hz)
電圧	0 ~ 600 V AC(50/60Hz)
抵抗・導通チェック	2KΩ ~ 2MΩ

精度

交流電流	0 ~ 200A	$\pm 1.0\%rdg \pm 5dgt.$ (50/60Hz)
交流電圧	抵抗	
交流電流	0 ~ 400A	$\pm 1.0\%rdg \pm 3.0\%(FS)$ 23℃ ± 5℃ 80%RH以下 最小分解能 0.01mA

C T 窓 径	40mm
外部磁界の影響	3mA以下(近接電線100Aにて)
耐電圧	AC2000V 1分間
オーバーレンジ表示	最上位桁「1」のみ点滅
データホールド	「DH」マークが点灯し表示をホールドする
電池電圧表示	動作電圧以下のとき「B」マーク点灯
サンプルレート	2回/秒
使用回路電圧	AC600V以下
使用温湿度	0 ~ 40℃ 80%RH以下(ただし結露がないこと)
保存温湿度	-10 ~ 60℃ 70%RH以下(ただし結露がないこと)
電源	乾電池 UM-4(単4) 2本
寸法	69×197×32mm
重量	370g(乾電池2本含む)
付属品	キャリングケース……………1 テストリード……………1 取扱説明書……………1 乾電池(単4)……………2

3. 各部の名称と説明



- ①クランプ式ZCT 漏れ電流・電流検出用センサで、クランプ式になっています。
- ②開閉レバー 内へ押すとクランプ部が開きます。
- ③データホールドスイッチ スイッチを一回押すと測定数値をそのまま保持します。(もう一度押すと解除します)
- ④V端子 交流電圧測定の際にテストリードを差し込む端子です。
- ⑤表示部 液晶パネル(LCD)により測定値の数字表示、及び電池状態の表示をします。
- ⑥レンジつまみ 測定する種類およびレンジ切換え用のつまみです。
- ⑦Ω端子 抵抗測定の際にテストリードを差し込む端子です。
- ⑧電源スイッチ 電源のオン、オフスイッチです。
- ⑨フィルタスイッチ 電流測定時、本スイッチをONにすることで高域周波数をカットすることができます。
- ⑩ハンドストラップ 測定の時手首へかけ、本器の落下を防止するものです。

4. 取扱方法

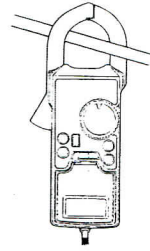
▷電池の収納方法

- 1.電源スイッチが「OFF」であることを確認します。
- 2.バックケースのネジをはずしバックケースをはずします。
- 3.電池を $\oplus/\ominus$ の極性を間違えない様に電池ケースに収納します。
- 4.バックケースを元通りにかぶせ、ネジを締めます。

▷測定方法

▶線電流の測定

- 1.電源スイッチを「ON」の位置にします。
- 2.レンジつまみで測定レンジを選択します。(推奨測定電流より大きめのレンジを設定して下さい)
- 3.クランプ部を開き、測定したい電線1本をはさみ込みクランプを完全にとじます。
- 4.指示値を読みとります。(オーバーレンジの時は最上位桁「1」のみが点滅)



読みとりにくい場所では、データホールドを活用して下さい。

表示器に「DH」の表示があるときはDATA HOLDスイッチを押してデータホールドを解除します。(「DH」マークが消える)

- 5.高域周波数をカットしたい時はフィルタスイッチをONにします。

▶もれ電流の測定

- 1.接地線でのもれ電流の測定

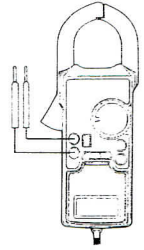
操作は線電流の測定と同様に行います。

- 2.接地線以外の電路でのもれ電流の測定

操作は線電流の測定と同様ですが、単相電線のもれ電流は2本一緒に、三相の場合は3本一緒にさき込んで下さい。

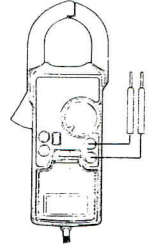
▶電圧の測定

- 1.電源スイッチを「ON」の位置にします。
- 2.レンジつまみを[V]に合わせます。
- 3.テストリードをV端子に差し込みます。
- 4.テストリードの先端を測定部にあてます。
- 5.指示値を読みとります。



▶抵抗の測定

- 1.電源スイッチを「ON」の位置にします。
- 2.レンジつまみを $2k\Omega \sim 2M\Omega$ に合わせます。
- 3.テストリードを Ω 端子に差し込みます。
- 4.テストリードの先端を測定部にあて、指示値を読みとります。



注 意

- 本器は低圧用ですので、AC600V以下の電路で使用して下さい。
- 測定を行わない時は、必ず電源スイッチを「OFF」にして下さい。
- 測定する前に必ず電池のチェックを行って下さい。

5. アフターサービス

万一故障した場合は、お手数でもお買い上げいただいた販売店へ直接お持ち込み下さい。なお、都合の悪い場合は、弊社まで郵送願います。

郵送する場合は、本器を柔らかい紙、または布で包んで外箱(ダンボール等)に収納し、住所、氏名、電話番号を明記した保証書といっしょに簡易書留で郵送して下さい。

保証書

※御使用者 住 所 氏 名	
MODEL NO	SER NO
保証期間 年 月より1ヵ年	

お願い 本保証書はアフターサービスの際必要となります。
お手数でも※印個所にご記入の上本器の最終御使用
者のお手許に保管をしてください。

保証規定

- 1 保証期間中に正常な使用状態で、万一故障等が生じた場合は
保証規定に基づき無償で修理いたします。
- 2 本保証書は、日本国内でのみ有効です。
- 3 保証書の再発行はいたしません。
- 4 下記事項に該当する場合は、無償修理の対象から除外いたします。
 - a 不適当な取扱い使用による故障
 - b 設計仕様条件等をこえた取扱い、使用または保管による故障
 - c 当社もしくは当社が委嘱した者以外の改造または修理に起因
する故障
 - d その他当社の責任とみなされない故障

販売店名